

〔令和7年度12月補正予算〕持続できる果樹産地緊急支援事業 ＜概要版＞

果樹栽培に欠かせないスピードスプレーヤは、近年の物価高騰のため、中小規模の生産者を中心に、機械の更新ができず、栽培を断念する例が少なくない。これらの生産者の営農継続に向けて、スピードスプレーヤの更新にかかる経費の一部を支援する。

1 支援の内容

- スピードスプレーヤの更新（中古を含む）

2 事業実施主体

- 農業者団体（3戸以上の農業者で組織する団体）※各々が認定農業者である場合は2戸以上
 - 農業法人
- （注）共同利用や作業受託を行う団体がスピードスプレーヤを整備する場合、原則としてその団体ごとに1つの事業実施主体として申請するものとする。

3 事業の対象品目

- 果樹全般

4 補助の要件

- 市町村が県の補助に上乗せして補助金を交付すること。
- 成果目標を設定しており、当該目標の実現が見込まれること。
- 更新前のスピードスプレーヤの使用年数が10年以上であること。
- 経営主が65歳以上かつ後継者が決まっていない場合は、新たな担い手への継承に向けて、樹園地に関する情報を市町村・農業委員会などに提供すること。
- 導入する機械の規格（散布能力）が、経営規模に見合ったものであること。
- 農機具共済や動産総合保険等の保険（盗難補償及び天災等に対する補償を必須）に加入すること。

5 成果目標

- 事業実施の翌年度に「果樹の総販売額又は総所得額の増加」の実現が見込まれること。

6 補助金の額

- 補助率 1/3 以内（県：2/9、市町村：1/9） ※市町村は1/9 以上

7 その他

- 実績報告書の提出期限は、令和9年2月26日（金）とする。
- 要望が予算額を上回る場合は、別途定める採択基準によりポイント化し、予算の範囲内でポイントの高い順に採択する。

「持続できる果樹産地緊急支援事業」採択基準

下記の配点水準により、合計ポイントが高い順に採択する。

なお、合計ポイントが同点の場合は、事業費（税込）を延べ散布面積（目標年度）で除した値が低い順に採択する。

| | 項 目 | 配 点 水 準 | 点数 | 最大 |
|--|--|-------------------|----|----|
| 1 | 山形県特定農業機械導入基準に定める類別の下限面積に対する延べ散布面積（R9）※の割合 ※ 各樹種の「（栽培面積＋防除作業受託面積）×標準散布回数」の合計 | 下限面積の110％未満 | 0 | 3点 |
| | | 下限面積の110％以上120％未満 | 1 | |
| | | 下限面積の120％以上130％未満 | 2 | |
| | | 下限面積の130％以上 | 3 | |
| 2 （い ず れ か を 選 択 ） | 共同利用の参加人数（更新するスピードスプレーヤ1台当たり） ※ 事業実施主体の構成員間で共同利用が想定されない「農業者団体（共同利用なし）」及び「農業法人」は選択不可 | 共同利用なし | 0 | 3点 |
| | | 2人での共同利用 | 1 | |
| | | 3人での共同利用 | 2 | |
| | | 4人以上の共同利用 | 3 | |
| | 産地維持のための「栽培面積及び防除作業受託面積」※の増加率 ※ 樹園地の取得、借受及び防除作業受託を行う面積の合計（防除作業受託の場合は、標準散布回数の過半を請け負う場合のみ面積にカウント） | 増加率1％未満 | 0 | |
| | | 増加率1％以上4％未満 | 1 | |
| | | 増加率4％以上7％未満 | 2 | |
| | | 増加率7％以上 | 3 | |
| 3 | 更新前のスピードスプレーヤの令和7年度までの使用年数 | 15年未満 | 0 | 2点 |
| | | 15年以上20年未満 | 1 | |
| | | 20年以上 | 2 | |
| | 合 計 | | | 8点 |